



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和2年9月第4回市長定例記者会見

- ・日時 令和2年9月29日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 ウィズコロナ～まずは近場の旅行から～
マイクロツーリズム推進モニターバスツアーを実施します(資料1)
- 2 「『日本の名湯 伊香保温泉』元気応援プロジェクト」
第2ステージ市民限定の宿泊割引(第3弾)を実施します(資料2)
- 3 令和2年10月1日付けで氷河期世代職員を採用します(資料3)
- 4 「新しい生活様式の啓発×プラゴミ削減」をコラボした
オリジナルエコバッグを全世帯に配布します(資料4)
- 5 コロナ禍での移住を推進するため移住者との意見交換会を開催します(資料5)
- 6 コロナ禍において高齢者が自宅で楽しく取り組める
フレイル予防の情報を発信します(資料6)

○次回開催予定

日時：令和2年10月5日(月)午後1時～

場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
9月28日(月)	7:15 8:30 10:00	秋の全国交通安全運動車両広報 シルバー人材センター事務所移転開所式 9月市議会定例会:表決、閉会	子持地区 旧子持公民館別館	市民協働推進課 高齢者安心課 議会事務局
9月29日(火)	7:20 9:00 13:00 13:30 14:40	秋の全国交通安全運動車両広報 庁議 記者会見 借り上げ福祉避難所推進プログラム 伊香保町クリーン作戦	赤城地区 庁議室 記者会見室 いかほ秀水園 伊香保中学校	市民協働推進課 秘書室 秘書室 環境政策課
9月30日(水)	7:30 17:00 18:00	秋の全国交通安全運動車両広報 高校生の放課後自習室(すたでいばんく)累計利用人数 55,555人目認定証授与式 マイ・タイムライン講習会	渋川地区 すたでいばんく 半田自治会館	市民協働推進課 生涯学習課 危機管理室
10月1日(木)	9:00 13:30 16:30 18:00	令和2年10月1日採用職員辞令交付式 令和2年度優良建設工事等表彰式 令和2年度平和推進啓発作文・ポスター最終審査 第3回日本のまんなか渋川・市長と語る会	第1会議室 金島ふれあいセンター 記者会見室 庁議室	人事課 契約検査課 市民協働推進課 秘書室
10月2日(金)	10:30 11:30 13:00 15:00 17:30 18:30	長寿者顕彰 しぶかわ商工会新事務所お披露目式 第5回全国温泉地サミット(WEB会議) 叙位伝達 渋川高校生徒会主催100周年記念イベント 第6回古巻地域・古巻公民館の諸課題を検討する委員会 ー高木市長との意見交換会ー	市内 旧子持公民館別館 記者会見室 市内 渋川スカイランドパーク 古巻公民館	高齢者安心課 商工振興課 観光課 秘書室 秘書室 古巻公民館
10月3日(土)	9:00 9:30 16:00	幼稚園運動会 渋川北群馬中体連駅伝大会 ART MEATS LIVE in Shibukawa	赤城幼稚園ほか 渋川総合公園 渋川市民会館	学校教育課 学校教育課 まちづくり財団
10月4日(日)				
10月5日(月)	9:00 13:00 15:00	庁議 記者会見 第29回政策戦略会議	庁議室 記者会見室 庁議室	秘書室 秘書室 秘書室

資料1

担当：産業観光部観光課 課長 寺島 剛 電話0279-22-2873 内線4880

ウィズコロナ～まずは近場の旅行から～ マイクロツーリズム推進モニターバスツアーを実施します

新型コロナウイルス感染症の影響で大打撃を受けた渋川北群馬エリア内の観光関連事業者等と連携し、市民等を対象としたモニターバスツアーを実施します。この取り組みにより、市内観光資源の再発見と磨き上げを行い、「渋川市版マイクロツーリズム」を構築し、観光産業の活性化を図ります。

バスツアーは、7つコースで計35回実施し、10月1日(木)から申込受付を開始します。

1 趣 旨

新型コロナウイルスの影響が不安視される中、長期化するウィズコロナ期において、観光産業が生き残っていくための方法の1つとして提唱されている「マイクロツーリズム」を参考に、市民等を対象としたモニターバスツアーを実施します。この取り組みにより、市内観光資源の再発見と磨き上げを行い、「渋川市版マイクロツーリズム」を構築し、観光産業の活性化を図ります。

2 事業効果

新型コロナウイルス感染症の影響により、大打撃を受けた渋川北群馬エリア内の観光関連事業者等と連携し、域内の隠れた観光素材（資源）の発掘と磨き上げを図ることで、マイクロツーリズムの構築及び旅行（観光）マインド向上を目指します。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止に関する各ガイドラインを遵守して実施することで、安心な観光地として認知度向上を図ります。

3 実施体制

渋川伊香保温泉観光協会が市内バス事業者と連携して実施し、その運営費用の一部を市が補助します。

(1) 実施主体 渋川伊香保温泉観光協会

(2) 催行事業者 関越交通株式会社

※旅行業法に該当するため、渋川市内に拠点を置く旅行業事業者にツアー催行に伴う一連の業務を委託し実施する。

4 事業概要

(1) 事業名称 渋川市マイクロツーリズム推進モニターバスツアー実施事業
商品名：「しぶかわ魅力再発見！バスツアー」…関越交通(株)販売

(2) 実施時期 令和2年10月17日（初回）～令和3年3月13日（最終回）

(3) 募集期間 10月1日(木)～運行前日まで

※運行4日前時点で最少催行人員に満たない場合は催行中止

- (4) 対 象 者 どなたでも（子どものみの参加は不可）
- (5) 定 員 20人（バス45人定員・応募状況により増便も検討）
- (6) 参 加 料 2,000円程度（施設入館料、昼食代等）
- (7) アンケート 渋川市版マイクロツーリズムの構築に向けた基礎資料とすべく参加者全員にアンケートに答えていただきます

※詳しくは、10月1日（木）の新聞折込チラシ又は（一社）渋川伊香保温泉観光協会のホームページ(<https://www.ikaho-kankou.com/>)をご覧ください。

5 コース概要（実施予定時期・回数）

(1) 第1弾（令和2年10月～12月）

- ①たっぷり赤城自然園&りんご狩りツアー＝全11回（内2回を渋川市民限定コース、1回を渋川市民親子限定コースとして特別価格で実施）
- ②秋名山ダウンヒル体感！頭文字D聖地巡礼バスツアー＝全6回
- ③白井宿の歴史散策と地産地消 秋の郷土味覚ツアー＝全2回
- ④渋川のランドマーク佐久発電所の歴史探訪と地産地消 秋の郷土味覚ツアー＝全2回

(2) 第2弾（令和3年1月～3月）

- ⑤古代人に会いに行こう！群馬県埋蔵文化財調査センターと佛光山法水寺・卯三郎こけし＝全4回
- ⑥早春の赤城自然園&いちご狩りツアー＝全4回
- ⑦未来を体感！自動運転バス体験乗車といちご狩りツアー＝全6回

6 申込方法

電話で関越交通（株）へ

- ・電話番号＝0120-753-815
- ・受付時間＝月～金曜日、午前9時～午後5時30分

資料2

担当：産業観光部観光課 課長 寺島 剛 電話0279-22-2873 内線4880

「『日本の名湯 伊香保温泉』元気応援プロジェクト」 第2ステージ市民限定の宿泊割引（第3弾）を実施します

観光庁によるG・O・T・Oキャンペーンが7月22日から開始されていますが、8月、9月の伊香保温泉の宿泊予約状況は、例年を大きく下回る状況となっています。今後の見通しについても、観光入込客の回復が見込めないことを予測しています。

こうしたことから「『日本の名湯 伊香保温泉』元気応援プロジェクト」の第3ステージの取り組みとして、再度市民限定の宿泊費支援を行い、低迷する本市観光産業の活性化を図ります。

1 第2ステージ（第3弾）の取り組み

（1）趣 旨

観光庁によるG・O・T・Oキャンペーンが7月22日から令和3年1月末までを当面の実施期間として開始されたところですが、新型コロナウイルス第2波ともいわれる感染拡大が影響し、8月、9月の伊香保温泉の宿泊予約状況は、例年を大きく下回る状況となっています。

渋川伊香保温泉観光協会では、今後の見通しについて、例年では繁忙期である秋から年末年始にかけても感染拡大のピークが懸念されるなか、観光入込客の回復が見込めないことを予測しています。

こうしたことから「『日本の名湯 伊香保温泉』元気応援プロジェクト」の第3ステージの取り組みとして、G・O・T・Oトラベル実施期間に合わせて、2ステージで実施した市民限定の宿泊費支援を行い、低迷する本市観光産業の活性化を図るものです。

（2）概 要

渋川伊香保温泉観光協会が行った衛生管理対策の講習会を受講し、一定の安全衛生基準を達成している施設で、1人につき税込み5,000円以上のプランを市内在住者が利用した際に、次の割引を行った宿泊施設に対し、その割引額を助成します。

① 1人につき10,000円以上のプランで5,000円割引

② 1人につき10,000円未満のプランは半額割引（1,000円未満切り捨て）

※G・O・T・Oトラベルキャンペーンとの併用可能

※予約先着3,000人に達した時点で終了

（3）利用方法

① 市民は、宿泊施設にプランを利用したい旨を告げ予約をする。

② 宿泊施設は、助成額分を差し引いた金額で利用者の精算を行う。

③ 宿泊施設は、助成額分を渋川伊香保温泉観光協会に請求し、精算する。

（4）申込開始日 令和2年10月8日（木）

（5）対象期間 令和2年10月8日（木）～令和3年2月28日（日）の利用分

2 『日本の名湯 伊香保温泉』元気応援プロジェクト実施状況

(1) 第1ステージ

①宿泊施設に対する衛生管理対策費用10万円の補助

- ・交付件数 46件
- ・申請受付期間 令和2年6月1日(月)～6月30日(火)

②安心安全な受入環境整備のための衛生講習会

- ・実施日 令和2年6月4日(木)午後3時～
- ・会場 金島ふれあいセンターホール
- ・参加者 43事業者

③衛生基準「しぶかわ伊香保モデル」の作成

(2) 第2ステージ

①市民限定宿泊費支援(第1弾)(上限5,000円の助成・定員1,000人)

渋川伊香保温泉観光協会が行う衛生管理対策の講習会を受講し、一定の安全衛生基準を達成している施設を市民が利用した際に、1名につき5,000円以上のプランを対象に次の割引を行った宿泊施設に対し、その割引額を助成した。

- ・利用期間 令和2年6月10日(水)～7月31日(金)の利用分
- ・対象施設 41施設
- ・概要

※1名につき10,000円以上のプランで5,000円割引

※1名につき10,000円未満のプランは半額割引(1,000円未満切捨)

※予約の申し込みは、1度に5人までとする。

※予約先着1,000人に達した時点で終了(募集開始当日で終了)

②市民限定宿泊費支援(第2弾)(上限5,000円の助成・定員2,000人)

6月10日から第2ステージの宿泊利用受付を開始したところ、予定の1,000人に1日で到達したことから、より多くの市民に利用してもらう機会を拡充するため、第2ステージの宿泊費支援を追加した。

- ・利用期間 令和2年6月13日(土)～7月31日(金)の利用分
- ・対象施設 41施設
- ・概要 第1段に同じ

※予約先着2,000人に達した時点で終了(6月19日に定員に達し終了)

資料3

担当：総務部人事課 課長 木村 毅 電話0279-22-2362 内線2111

令和2年10月1日付けで氷河期世代職員を採用します

10月1日付けで、氷河期世代を対象とした職員7名を採用します。就職困難な時期を過ごして採用された職員については、氷河期世代ということだけでなく、豊富な経験や資格を生かした即戦力として配属先を決定しました。

1 趣 旨

令和2年10月1日付け氷河期世代職員7名（一般事務4名、土木技師2名、建築技師1名）を採用します。

※一般事務・土木技師：昭和49年4月2日～昭和59年4月1日の間に生まれた人（令和2年度中に46歳から37歳になる人）

※建築技師：昭和45年4月2日～昭和59年4月1日の間に生まれた人（令和2年度中に50歳から37歳になる人）

2 概 要

いわゆる就職氷河期世代は、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代で、希望する就職ができず不安定な仕事に就いている方が多くいます。国では、就職氷河期世代支援プログラムにより集中的に支援に取り組むこととしています。

本市においても、就職氷河期世代を対象とした職員を募集したところ、合計269人の応募があり、群馬県で最初に氷河期世代の職員採用試験を実施（一次試験3月14日）しました。当初予定では、7月1日採用を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により試験日程の変更を余儀なくされ、今回10月1日付けで採用をすることとなりました。

3 採用職員と配属先

今回採用する職員は以下のとおりです。それぞれ雇用経歴や所持する資格等を考慮し配属先を決定しました。 ※（ ）内は10月1日年齢

（1）一般事務 4名

- | | |
|-------------|--------------|
| ①町田 一慶 (45) | 総務部税務課 |
| ②加藤 雅子 (39) | 総合政策部政策創造課 |
| ③吉田 知幸 (37) | 総合政策部政策創造課 |
| ④佐藤 重里 (44) | スポーツ健康部健康増進課 |

（2）土木技師 2名

- | | |
|-------------|------------|
| ①金子 義行 (40) | 建設交通部土木管理課 |
| ②中澤 弘利 (37) | 建設交通部土木管理課 |

（3）建築技師 1名

- | | |
|--------------|------------|
| ①中曽根 忠克 (46) | 建設交通部建築住宅課 |
|--------------|------------|

4 辞令交付式

- （1）令和2年10月1日（木）午前9時
- （2）市役所本庁舎3階 第1会議室

氷河期世代採用試験結果(令和2年10月1日採用)

	応募者数	受験者数 ①	一次 合格者 ②	一次試験 倍率 ①/②	二次 受験者 ③	二次 合格者 ④	二次試験 倍率 ③/④	三次 受験者 ⑤	最終 合格者 ⑥	三次試験 倍率 ⑤/⑥	最終 倍率 ①/⑥
		試験日	3月14日		7月4日			8月8日			
一般事務	大卒	151	131	33	3.97	32					
	短卒	26	24	7	3.43	7	17	16	4	4.00	54.75
	高卒	72	64	16	4.00	15					
土木技師	10	9	6	1.50	5	4	1.25	4	2	2.00	4.50
建築技師	10	10	6	1.67	6	4	1.50	4	1	4.00	10.00
	269	238	68	3.50	65	25	2.60	24	7	3.43	34.00

※二次試験以降は学歴により分けることなく面接選考しました

参考

学歴	応募者数	受験者	一次 合格者	二次 受験者	二次 合格者	三次 受験者	最終 合格者	最終 倍率
大卒	151	131	33	32	13	12	2	65.5
短卒	26	24	7	7	3	3	1	24.0
高卒	72	64	16	15	1	1	1	64.0

人事異動一覧 (令和2年10月1日付)

市長部局

【課長級】

新任命職	氏名	前職	備考
総合政策部政策創造課長 (兼)診療所経営改革室長(経営改革係長)	生方 清三郎	総合政策部政策創造課長	

【主事級】

新任命職	氏名	前職	備考
総務部人事課付主事	松井 理香	上下水道局総務経営課主事	
スポーツ健康部健康増進課保健師	佐藤 菜	スポーツ健康部国保あかぎ診療所保健師 (兼)健康増進課保健師	

【新採用】

新任命職	氏名	前職	備考
総務部税務課主任	町田 一慶	新採用	
総合政策部政策創造課主任	加藤 雅子	新採用	
総合政策部政策創造課主事	吉田 知幸	新採用	
スポーツ健康部健康増進課主任	佐藤 重里	新採用	
建設交通部土木管理課主任	金子 義行	新採用	
建設交通部土木管理課主任	中澤 弘利	新採用	
建設交通部建築住宅課主任	中曽根 忠克	新採用	

【退職】

新任命職	氏名	前職	備考
9月30日付退職	大森 薫	市民環境部赤城行政センター主任行政専門員	

教育委員会

【主任級】

新任命職	氏名	前職	備考
教育部生涯学習課主任	木村 洋輔	福祉部地域包括ケア課主任	

資料4

担当：市民環境部環境政策課 課長 内田 貞徳 電話0279-22-2114 内線1140

「新しい生活様式の啓発×プラゴミ削減」をコラボしたオリジナルエコバッグを全世帯に配布します

新型コロナウイルス感染予防対策に向けた国が示す「新しい生活様式」を市民に具体的にイメージしていただけるように、日常生活の中で取り入れてもらいたい実践例をイラストにし、「新しい生活様式の啓発」と「プラごみ削減」という2つの「今私達が守っていくこと」をコラボさせて市オリジナルのエコバッグを10月1日に全世帯に配付します。

1 目 的

新型コロナウイルスの感染による影響は、私たちの生活を大きく変えることとなりました。コロナと共存した新たな日常を送るためにも、「身体的な距離の確保」や「マスクの着用」、「手洗い」など、市民一人一人が、日常生活の中で「新しい生活様式」を心がけていくことがより大切となっています。

また、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題を解決するため、全国でプラスチック製買い物袋のレジ袋が有料化となりました。

以上のことから、「新しい生活様式の啓発×プラゴミ削減」をコラボしたオリジナルエコバッグを全戸に配布し、多くの皆さんに利用していただくことで、新型コロナウイルス感染予防対策とともに、環境問題にも目を向けていただき、ライフスタイルを見直すきっかけとなることを期待しています。

2 配付物品

「新しい生活様式の啓発×プラごみ削減」
をコラボしたオリジナルエコバッグ
※内ポケット収納型折りたたみバッグ

3 作成単価 約200円 (203.5円)

4 サ イ ズ

- (1) 使用時 巾350mm×丈400×マチ130mm
- (2) 収納時 巾140mm×130mm

5 作成数 35,000枚

6 配付対象者 全世帯

7 配付時期 10月1日号広報紙と一緒に配付



資料5

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏仲 電話0279-22-2110 内線2411

コロナ禍での移住を推進するため 移住者との意見交換会を開催します

令和元年度から毎月1回開催している「日本のまんなか渋川・市長と語る会」について、今年度第3回は、コロナ禍における移住を推進するため、本市へ移住した方6名に参加していただき、移住する際に困ったことや実際に住んでみて感じたことなどについて意見交換を行います。開催日は、10月1日(木)です。

1 概要

令和元年度から毎月1回、市長と市民との対話方式による会議「日本のまんなか渋川・市長と語る会」を開催し、対話と参加の市政を推進しています。

今年度第3回は、コロナ禍における移住を推進するため、本市へ移住した方を6名お招きし、移住する際に困ったことや実際に住んでみて感じたことなど、移住した経験をもとに御意見・御提案をいただきます。

2 開催日程 令和2年10月1日(木)午後6時～午後7時30分(予定)

3 場 所 渋川市役所本庁舎2階 庁議室

4 参加者

- ・本市へ移住した方(6名)
- ・市長、市長戦略部長、総合政策部長、政策創造課長、秘書室長

参考

渋川市の主な移住定住支援事業

(1) 移住者住宅支援

渋川市の人口減少を抑え、定住人口を増やすことによる地域活性化を目的として、住宅を取得して市外から転入する方に助成金を交付する。

- ・助成額＝10万円＋加算あり(最大50万円)

(2) 空き家バンク制度

渋川市への移住定住促進を目的として、売却・賃貸を希望する空き家の情報を市ホームページと「全国版空き家・空き地バンク」上で公開し、購入・賃貸の希望者を幅広く募り、情報提供する。

(3) 移住希望者お試し滞在費支援（令和2年10月1日～）

渋川市への移住促進を図るため、住まいや仕事探し、本市の特色である都心からの交通利便性、豊かな自然環境及び充実した子育て環境などを知るために来市した移住希望者へ、その滞在した期間に要した宿泊費を補助する。

・補助額＝大人(中学生以上)5,000円

こども(小学生)2,500円

未就学児は対象外

※1世帯あたり2万円を上限

担当：スポーツ健康部介護保険課 課長 山田 由里 電話0279-22-2116 内線1230

コロナ禍において高齢者が自宅で楽しく取り組める フレイル予防の情報を発信します

コロナ禍において、高齢者の外出自粛や社会的つながりの減少など、高齢者のフレイル（虚弱）の進行が懸念される状況となっています。そこで、「浜川市介護予防だより」の発行と体操動画の活用により、高齢者が自宅で楽しく取り組める、フレイル予防に必要な情報を発信していきます。

1 目 的

新型コロナウイルス感染症対策のため、高齢者の外出自粛や社会的つながりの減少など、これまで以上に高齢者のフレイル（虚弱）の進行が懸念される状況となっています。そこで、コロナ禍におけるフレイル予防に必要な情報を、高齢者が正しく楽しく、自宅で自ら取り組めるよう発信していきます。

2 概 要

（1）浜川市介護予防だより コロナ対策特別号の作成、配布

- ・コロナ対策特別号「感染症に負けない！コロナ時代のフレイル対策」の毎戸配布を行います。
- ・内容は、コロナ禍でのフレイルの進行を防ぐ「3つの柱」（栄養、身体活動、社会参加）と感染予防の周知を行います。

（2）体操動画「いつでも・どこでも・ぐんぐん体操 ～おうちで楽しくサポーターと！コロナ対策版～」の作成

- ・地域で活動する介護予防サポーターと協働で作成しました。地元のサポーター・ゆるキャラが体操のコツを説明し、高齢者が一緒に楽しんで取り組める内容としました。
- ・体操は、市の介護予防教室で実施していて、馴染みのあるぐんぐん体操（「高齢者の暮らしを拓げる10の筋力トレーニング（鬼石モデル）」、制作：群馬県地域リハビリテーション支援センター）を活用しています。
- ・新しい生活様式を取り入れて体操している動画であるため、集団活動時の感染予防の周知にもなっています。

（3）情報の発信により期待される効果

- ・体操動画を介護予防だより、浜川市ホームページ及び公式ユーチューブに掲載することで、高齢者と離れて生活する家族が情報を得て、高齢者の健康を気遣うきっかけや、支え合うためのコミュニケーションのツールとなることが期待されます。

3 周知方法

(1) 介護予防日より 10月1日(木)に広報しぶかわと同時に毎戸配布します

(2) 体操動画

- ・介護予防だよりにQRコードを掲載します（渋川市ホームページよりリンク先の動画へ）
- ・渋川市公式ユーチューブに掲載します
- ・各地区の介護予防サポーター及び希望する者（市民、自治会等）にDVDを配布します。自治会等に配布することで、自宅にDVD再生機器のない人でも、集会所を利用した集いの場での活用が行えます。

4 予 算

「令和2年度介護保険事業費補助金（令和2年度補正予算）」通いの場の活動自粛下における介護予防のための広報支援事業の活用